

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	さくらんぼの木（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	R7 年 2月 24日 ～ R7 年 3月 20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○従業者評価実施期間	R7 年 3月 21日 ～ R7 年 3月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 4月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	外遊びを通して心と体の成長を促し運動能力の向上に力を入れている。	日頃からお散歩、公園遊びを取り入れ、自然に触れている。子供の体調や気分によって日光浴の時間を決め、また活動量によって午睡時間を調整している。外気に触れた後の手洗い、消毒、検温をこまめに実施する等のケアも大切に行っている。	保護者様のニーズに応え、近くの公園遊びや、時には遊具が豊富な広い公園やグランドへ移動して、自然に触れながら心身ともに健康な育成に取り組んでいく。
2	少人数のグループ活動や個別対応体制が充実している。	個人の特性、保護者様の要望などから、個別対応では創作活動や運動を取り入れた遊びを行い、徐々に集団の中での活動にも馴染めるように工夫している。	引き続き個性を重んじ、児童自ら創作した遊びをきっかけに集団のなかでもルールを守りコミュニケーションが図れるように支援していく。
3	保護者様、関係機関との連携を図っている。	保護者様から相談があった場合には保護者様へ寄り添いしっかりと話を聞いたうえでアドバイスしている。	保護者様より要望があれば、児童の様子を写真に撮りお伝えするなどしている。質問等に対しても送迎時、あるいは電話等でお伝えし、情報共有を継続して行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童、保護者との地域交流、保護者会等の機会が設けられていない。	地域の行事や催しに参加する機会がない。	地域の行事や催しに参加できる機会があれば参加していく
2	活動スペースが十分に確保できていない。	構造的に室内の広さを変換できない。	活動人数によって棚のレイアウトを替えたり、机やいすの配置を工夫してスペースを確保する。